

第20回 白馬国際音楽祭

HAKUBA INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL



白馬
A1ps
花三昧
2018
7.1[sun] ▶ 8.31[fri]

入場料 ● 会員(4日間通し)…¥5,000円 1日券(大人)…¥3,000円 1日券(18才以下)…¥2,000円

開催日 ● 2018年7月25日(水)~7月28日(土) 開場18:30 開演19:00

会場 ● 白馬美術館 コンサートホール

主催 ● 一般社団法人 白馬国際音楽会

後援 ● 白馬村/外務省/EMBASSY OF PAPUA NEW GUINEA/EMBASSY OF FEDERATED STATES OF MICRONESIA
EMBASSY OF KINGDOM OF TONGA/EMBASSY OF INDEPENDENT STATE OF SAMOA/信濃毎日新聞社
国際機関太平洋諸島センター

協賛 ● 白馬美術館/協和海運(株)/エース物産(株)/山九(株)/北野建設(株)/三井住友海上火災保険(株)
(株)三菱東京UFJ銀行/(株)トリテック/エクセノ・ヤマミズ(株)/小川総合法律事務所/白馬シンポジウム
割烹“以志井”/東海協和(株)/二貴/Dongshin Maritime Agency/Dongbu Express
Shinyang Shipping Service Agencies/Donghae Marine Service/Pacific Enterprise/村上商事(株)
Matson Navigation(USA)/NYKバルク・プロジェクト(株)/Swire Shipping/(株)J.トレーディング
Triple J Enterprises/Mariana Steamship Agency/白馬総合開発(株)/ラ・ネージュ東館/白馬東急ホテル
リンデンバウム/グリンデル/日本ビジネスライン(株)/大洋エーアンドエフ(株)/SAIPAN SHIPPING
AGENCE MARITIME DU ROND POINT DU PACIFIQUE (NEW CALEDONIA)/清丸海運(株) (順不同)



●ヴァイオリン

使用楽器はシャリス財団から貸与されている1761年製ニコロ・ガリアーノ。白馬音楽祭にもたびたび出演している。



●ヴァイオリン

南米など世界各国を演奏旅行。'07年からスイス・ロマン管弦楽団第一ヴァイオリンに在籍。白馬音楽祭には'08年に初参加。



●ヴィオラ

数。ロンドンのギルドホール音楽演劇学校、ウィーン音楽院、ローザンヌ高等音楽大学などで後進の指導に当たり、'15年にはケルン音楽大学のヴィオラ科教授に就任。その教え子達は数々のコンクールで入賞し、世界中のオーケストラで活躍している。



●チェロ

らと4重奏団を結成し、さらにヴォーカルアンサンブルのSequenza9.3と共に[Vocello]を組織し、さまざまな時代の楽曲を、チェロと合唱という形で世に送り出している。またO.グレイフやP.サバコ、E.タンギなど現代音楽の演奏にも熱心で、録音も多数あり、数々の賞を受賞、'05年には芸術アカデミーから表彰された。使用楽器は1725年のストラヴィヴァリのワスリン。

ボグダン・ツヴォリスティアヌ Bogdan Zvoristeanu

ルーマニア・ブカレスト生まれ。父からヴァイオリンの手ほどきを受け、ブカレスト音楽アカデミー、スイス・グシュタドのメニューイン国際音楽アカデミーで学び、S.ゲオルギューとA.リシに師事。ティボル・ヴァルガやジョルジュ・エネスク、ジュネーヴ国際など数々のコンクールに入賞した。ソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパは勿論、南アメリカやカナダ、そしてアジアの音楽祭に招かれている。メニューイン国際音楽アカデミーで教鞭を取るかたわら、ドイツ、スペイン、韓国などでもマスタークラスを受け持っている。2002年からはスイス・ロマン管弦楽団の第1コンサートマスターを務め、'07年には室内楽グループ「シャリス・ヴィルトゥオーソ」を仲間と結成して活動するほか、自身もパッサのソナタやバルティータを録音。

久宝由実 Yumi Kubo

東京都出身。5歳からヴァイオリンをはじめ、桐朋学園女子高等学校、同学園ティプロマコースを経て、2001年ローザンヌ音楽院に入学、'04年同音楽院ソリストティプロマコースを首席で卒業。'01年第10回日本モーツァルトコンクールで奨励賞、続く国際モーツァルトコンクール派遣者選考演奏会で優秀賞、マックス・ジョスト財団から特別賞を受賞。これまでに三瓶詠子、石井志都子、P.アモイヤルに師事。ソリストとして大阪センチュリーオーケストラ、シンフォニエッタ・ローザンヌ、シュビーツフィルハーモニー、カメラータ・ローザンヌ等と共演、またピオラソロとしても、カメラータ・ロジエ、シンフォニエッタ・ジュネーヴ等と共演したほか、ザルツブルグ、グシュタド、モンペリエなど数多くのヨーロッパの音楽祭に参加、またアジア、ロシア、インド、中東、アメリカ、南米など世界各国を演奏旅行。'07年からスイス・ロマン管弦楽団第一ヴァイオリンに在籍。白馬音楽祭には'08年に初参加。

アレクサンダー・ゼムソフ Alexander Zemtsov

'1978年音楽家の家系に生まれ、モスクワのグネーシン音楽学校でE.オゾールに師事。マーストリヒト大学でM.クーゲル、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でT.ツィーママンにも学ぶ。15歳からソリストとして、A.ヴェデルニコフ、V.ユロフスキ、N.ヤルヴィらの指揮の下、欧米、アジア、オーストラリアなどの著名なオーケストラと共演。'95年モスクワのコンクール、'97年ハンブルクのE.マイヤーコンクール、2001年にはブラームス国際コンクールでそれぞれ第1位。23歳でロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者に就任して9年間務めた後は、ソロ奏者、指揮者、室内楽奏者として活動している。チェロのM.マスキー、N.グートマン、ヴァイオリンのD.シトコヴェツキー、V.トレチャコフ、ピアノのP.ドノホー、フルートのP.ガロワらとは定期的に共演している。録音も多数。ロンドンのギルドホール音楽演劇学校、ウィーン音楽院、ローザンヌ高等音楽大学などで後進の指導に当たり、'15年にはケルン音楽大学のヴィオラ科教授に就任。その教え子達は数々のコンクールで入賞し、世界中のオーケストラで活躍している。

アンリ・ドゥマルケット Henri Demarquette

'1970年生まれ。13歳でパリ音楽院に入学、F.ミュレルとM.ジャンドロンに師事して満場一致の1等賞を得て卒業後は、P.フルニエやP.トルトゥリエに、またアメリカでJ.シユタルケルにも学んだ。14歳の頃から演奏活動を始め、17歳でパリのシャトレ劇場にリサイタルデビュー。メニューインに見いだされ、プラハとパリで彼の指揮の下、ドヴォルザークの協奏曲を演奏した。その後はフランスのみならずロンドン、東京など世界の著名なオーケストラと共演、ピアノのM.ダルベルト、B.ベレゾフスキらとの共演も多い。2006年H.デュティユーの90歳を祝い、F.シャスラン指揮で演奏されたチェロ協奏曲「遙かなる遠い国へ」はテレビ放映された。アコーディオン奏者のR.ガリアーノとデュオを組んだり、タンゴのグループとコラボするなどその活動は多岐で、'15年にはA.デュメイと4重奏団を結成し、さらにヴォーカルアンサンブルのSequenza9.3と共に[Vocello]を組織し、さまざまな時代の楽曲を、チェロと合唱という形で世に送り出している。またO.グレイフやP.サバコ、E.タンギなど現代音楽の演奏にも熱心で、録音も多数あり、数々の賞を受賞、'05年には芸術アカデミーから表彰された。使用楽器は1725年のストラヴィヴァリのワスリン。



●オーボエ

口奏者として活躍するだけでなく、室内楽奏者としてもボルドー・アカデミー管弦楽団、パリ室内管弦楽団、トゥールーズ室内管弦楽団などと共演、欧米を始め、アメリカ、中国、日本、韓国など世界各国から招かれて演奏、多くの作品の初演も手がけている。



●メゾ・ソプラノ

室内楽にも力を入れ、アメリカン・バレエ・シアター、S.ゼムツォフ、R.オレグ、N.グートマン、F.ラバンなど様々な楽器の奏者とも共演している。またスイスをはじめ各地のマスターコースでも定期的に後進の指導に当たり、2010年からはローザンヌ高等音楽大学のピアノ科教授に就任。'10年にはマリア・カラス国際グランプリの審査員、'14年にはジュネーヴ国際ピアノコンクールの事前選考委員会のメンバーを務めた。



●ピアノ

も定期的に後進の指導に当たり、2010年からはローザンヌ高等音楽大学のピアノ科教授に就任。'10年にはマリア・カラス国際グランプリの審査員、'14年にはジュネーヴ国際ピアノコンクールの事前選考委員会のメンバーを務めた。



●音楽総監督

ジャン＝ルイ・カペツァリ Jean-Louis Capezzali

1959年フランス生まれ。9歳からピアノ、14歳の時P.ピエルロの弾くヴィヴァルティの協奏曲のレコードを聞いてオーボエに目覚める。パリのスコラ・カントルムで1年間学んだのち、ヴェルサイユの音楽院でG.ロンガットに師事して金メダル及び名誉賞を得て、オーボエ教授資格免許を取得。'79年ラムレー管弦楽団、'84年にはフランス放送フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者に就任、'82年ジュネーヴ、'86年パリ国際コンクールに入賞した。'88年パリ音楽院のM.ブルグのクラスの手助を務めた後、その後任として教授に就任。'90年からはリヨン音楽院、2009年からはローザンヌ高等音楽大学、さらに毎年アメリカやフランスの音楽学校の室内楽を指導し、テルチやクールシュヴァル、プラードの音楽祭などでも若手の指導を行なっている。正統的なフランス奏法を代表するソロ奏者として活躍するだけでなく、室内楽奏者としてもボルドー・アカデミー管弦楽団、パリ室内管弦楽団、トゥールーズ室内管弦楽団などと共演、欧米を始め、アメリカ、中国、日本、韓国など世界各国から招かれて演奏、多くの作品の初演も手がけている。

マリナ・ヴィオットティ Marina Viotti

音楽家の両親の下に生まれ、ルクセンブルク市音楽院でフルートを学び、ジャズやゴスペル、シャンソンにも親しむ。哲学と文学の修士号を取得後、2011年ウィーンでH.ブルンナーについて声楽を学び、'13年ローザンヌ高等音楽大学でB.バリエーに師事してソリストのティプロマを取得。さらにバセルロナのベルカント・アカデミーのR.ヒメネスにも学ぶ。さまざまな財団の奨学金を得、'15年マコン国際コンクールで優勝後、'16年ジュネーヴ国際コンクールで第3位、'17年ローザンヌのカッテンブルグ財団のコンクール優勝。ローザンヌ・オペラで、「魔笛」「ファウスト」に出演、'15年にはドイツのヴィルトバートのロッシーニフェスティバルで「アルジェのイタリア女」の主役を務め、'17年ツェルン劇場、バセルロナのリセウ劇場にもデビュー、今年もストラスブールのラン歌劇場やルツェルン劇場に出演が予定されている。ソリストとしてもそのレパートリーは大変幅広く、オペラ、オペレッタ、シャンソンやジャズなどの垣根を越えたショーも行いヨーロッパ各地の音楽祭に招かれ、「パッサハからピアノまで、愛の歌」といったリサイタルを行なっている。

パスカル・ゴダール Pascal Godart

パリ音楽院やハノーファー音楽大学で学び、R.アントンモン、Y.ロリオ、P.レアク、E.ヴァルヴァロヴァ、V.サカロフに師事。ミラノのD.チアーニ国際ピアノコンクール、クレーヴランドのカサドシ国際ピアノコンクールなど各地のコンクールで優勝後、1996年アテネのマリア・カラス国際グランプリでは10曲のピアノ協奏曲を弾いてグランプリを受賞した。その後は各地のオーケストラに招かれてヨーロッパのみならず、韓国、日本やアメリカ各地で演奏、イタリア、フランス、スイスなど各地の音楽祭などにも出演している。ここ白馬も4年連続の出演である。室内楽にも力を入れ、アメリカン・バレエ・シアター、S.ゼムツォフ、R.オレグ、N.グートマン、F.ラバンなど様々な楽器の奏者とも共演している。またスイスをはじめ各地のマスターコースでも定期的に後進の指導に当たり、2010年からはローザンヌ高等音楽大学のピアノ科教授に就任。'10年にはマリア・カラス国際グランプリの審査員、'14年にはジュネーヴ国際ピアノコンクールの事前選考委員会のメンバーを務めた。

川道 博子 Hiroko Kawamichi

京都生まれ、桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業。坂根豊子、美山節子に師事。東京二期会に所属。その後ローザンヌ高等音楽大学に入学、亡師「ピーズ」の助手を務めた後、同校の教授として確固たる地位を固め、現在も数々の若手の声楽家を送り出している。シュヴァルツコップ、E.タビー、L.サルティ、R.グリスト等にも学び、スイス、フランスを中心に、ヨーロッパ各地で演奏活動を行い、M.コルボの元でもしばしばソリストを務めている。オペラではフィガロの結婚のスザンナ役をA.シヨルダンの指揮にてデビュー、その後バナー、ノバゲナー、アディーナ、ミミ役を務めた。2007年以来白馬国際音楽祭の音楽監督として自身も出演するほか、意欲的なプログラムを企画し、数々の素晴らしい音楽家の来日に尽力している。

第3日目●7月27日(金曜日)

L.v.ベートーヴェン Ludwig van Beethoven

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品12-2 (ヴァイオリンとピアノ)
Sonate for violin no.2 in A major op.12-2 (violin & piano)

F.メンデルスゾーン Felix Mendelssohn

無言歌集より (オーボエとピアノ)
from Songs without words (oboe & piano)

第1曲	甘い思い出	op.19-1
第10曲	さすらい人	op.30-4
第13曲	宵の明星	op.38-1
第17曲	情熱	op.38-5
第30曲	春の歌	op.62-6
第34曲	紡ぎ歌	op.67-4

O.レスピーギ Ottorino Respighi

メゾソプラノと弦楽4重奏のための連作歌曲「夕暮れ」
Il tramonto

休憩

W.A.Mozart Wolfgang Amadeus Mozart

ピアノ4重奏曲 第2番 変ホ長調 K.493 (ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラとチェロ)
Quartet for piano no.2 in E♭ major K493 (piano, violin, viola & violoncello)

第1楽章	アレグロ	I. Allegro
第2楽章	ラルゲット	II. Larghetto
第3楽章	アレグレッツ	III. Allegretto

第4日目●7月28日(土曜日)

H.ベルリオーズ Hector Berlioz

バラの精 歌曲集「夏の夜」作品7より第2曲 (メゾソプラノとピアノ)
Le spectre de la rose from Les nuits d'été op.7 (mezzo-soprano & piano)

M.ラヴェル Maurice Ravel

孔雀 歌曲集「博物誌」より第1曲
Le Paon from Histoires naturelles no.1

F.プーランク Francis Poulenc

ホテル 歌曲集「平凡な話」より第2曲
Hôtel from Banalités no.2

愛の小径 付随音楽「レオカティア」より
Les chemins de l'amour from Léocadia

F.シューベルト Franz Schubert

アルベツジオーネ・ソナタ イ短調 D821 (チェロとピアノ)
Sonate for arpeggione & piano in A minor D821 (violoncello & piano)

休憩

R.シューマン Robert Schumann

3つのロマンス 作品94 (オーボエとピアノ)
3 Romances op.94 (oboe & piano)

1. 速くなく	I. Nicht schnell
2. 素朴に、内的に	II. Einfach innig
3. 速くなく	III. Nicht schnell

E.エルガー Edward Elgar

ピアノ5重奏曲 イ短調 作品84 (ピアノと弦楽4重奏)
Piano quintet in A minor op.84 (piano & quartet)

第1楽章	モテラート	I. Moderato
第2楽章	アダージョ	II. Adagio
第3楽章	アンダンテ・アレグロ	III. Andante-Allegro



ごあいさつ

「白馬国際音楽祭」は1995年（平成7年）に開催を始めました。途中、東日本大震災等の際には開催を控えましたので、今夏で23年目、第20回となります。小さな音楽祭ではありますが、これまでに演奏家は延べ140名、入場者は海外からの方も含めて約9,500名の参加となりました。これも偏に関係者の皆様にお支えいただいた賜物と厚く御礼申し上げます。演奏家、職業を異にする運営委員の皆がボランティアとして活動が続けています。情趣豊かな夏の白馬村での音楽祭、皆様と共に続けていきたいと思っておりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人「白馬国際音楽会」 代表 高松 裕満

●白馬国際音楽祭 プログラム（変更もあり得ます）

第1日目●7月25日（水曜日）

H.デュパルク Henri Duparc

前世 (メゾソプラノとピアノ)
La vie antérieure (mezzo-soprano & piano)
悲しき歌
Chanson triste
波と鐘
La vague et la cloche

A.ルビンシテイン Anton Rubinstein

ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品49 (ヴィオラとピアノ)
Sonate for viola in F minor op.49 (viola & piano)

休憩

B.ブリテン Benjamin Britten

オヴィディウスによる6つの変容 作品49 (オーボエ)
Six Metamorphoses after Ovid op.49 (oboe)

E.エルガー Edward Elgar

ピアノ5重奏曲 イ短調 作品84 (ピアノと弦楽4重奏)
Piano quintet in A minor op.84 (piano & quartet)

第1楽章 モデラート	I. Moderato
第2楽章 アダージョ	II. Adagio
第3楽章 アンダンテアレグロ	III. Andante-Allegro

第2日目●7月26日（木曜日）

S.プロコフィエフ Sergei Prokofiev

2つのヴァイオリンのためのソナタ ハ長調 作品56
Sonate for 2 violins in C major op.56

J.ブラームス Johannes Brahms

チェロ・ソナタ 第2番 ヘ長調 作品99 (チェロとピアノ)
Sonate for violoncello no.2 in F major op.99 (violoncello & piano)

休憩

R.シューマン Robert Schumann

3つのロマンス 作品94 (オーボエとピアノ)
3 Romances op.94 (oboe & piano)

1. 速くなく	I. Nicht schnell
2. 素朴に、内的に	II. Einfach innig
3. 速くなく	III. Nicht schnell

J.ブラームス Johannes Brahms

アルトのための2つの歌 作品91 (アルト、ヴィオラとピアノ)
2 songs for alt, viola & piano op.91 (alto, viola & piano)

1. ひめたる憧れ	Gestille Sehnsucht
2. 宗教的な子守歌	Geistliches Wiegenlied

W.A.モーツァルト W.A.Mozart

オーボエ4奏曲 ヘ長調 K370 (オーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラとチェロ)
Quartet for oboe in F major K370 (oboe, violin, viola & violoncello)

第1楽章 アレグロ	I. Allegro
第2楽章 アダージョ	II. Adagio
第3楽章 ロンド アレグロ	III. Rondo Allegro

白馬国際音楽会 メンバーズ 入会のご案内

白馬国際音楽会では、趣旨に賛同し会員になっていただける方を広く募り、ボランティア活動として運営しております。本趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、ご入会賜りたくお願い申し上げます。

本会の趣旨

1. 本会は、音楽と絵画と自然を愛する人々のコミュニケーションの場を持つことを目的とし、将来的には音楽・絵画のみならず、芸術活動全般および野外活動への関わりをめざしています。
2. 本会の運営は、本会の運営委員が行い、特定の個人や企業が営利目的等のために行うものではありません。

入会の方法

入会を希望される方、またお問い合わせは、運営委員または下記事務局へ。

「白馬国際音楽会」東京事務局：

〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビル4F
(株)トリテック 気付 白馬国際音楽会
TEL 03-3595-2850 FAX 03-3595-2896

白馬事務局（リンデンバウム）：

長野県北安曇郡白馬村岩岳
TEL 0261-72-4691 FAX 0261-72-3369

「白馬国際音楽会」への郵便振替口座番号

00130-3-170379

会員・会費・入会等

1. 本会の円滑な活動と運営を行うために、会員制とします。但し、非会員でも入場料で入場は出来ます。
2. 会員の方々には、年会費(1口・6,000円)をお願いし、前記趣旨に賛同される方はどなたでも会員になっていただくことが出来ます。
3. 入会・退会の手続きについては、別途会則により行います。
4. 本会の円滑な運営を行うために、個人、企業、団体の寄付を受け付けます。

白馬国際音楽祭 入場料

会員(4日間通し)¥5,000円 ※演奏終了後に美術館の中庭で
演奏家を囲んで簡単な飲食が
出来る歓談の席を設けます。
1日券(大人)¥3,000円
1日券(18才以下) ...¥2,000円

★ご来場の日取りを必ず事前にご予約下さい。
(予約なしのご入場はできない場合があります)
☆演奏中の入場はお控えいただくことがあります。

宿泊のご案内

白馬村観光案内所より白馬のホテル、ペンション等を紹介いたします。

白馬村観光案内所

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城7025番地
TEL 0261-72-7100(代) FAX 0261-72-6311

白馬美術館



Access

白馬国際音楽祭会場 白馬美術館

